

令和2年度博物館施設評価集計シート(3月末最終)

施設名 自然の博物館

1. 数値目標による評価

(1) 全館共通項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達
昨年度2~3月分の数字を足して算出	達成見込

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	利用状況	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	109,300	人	未達	第3期教育振興基本計画を踏まえた目標値 新型コロナウイルス感染拡大の影響による。	
				47,459	人			
2	利用状況	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	87,370	人	未達	基準値:87,361人 目標参考値:87,361人 新型コロナウイルス感染拡大の影響による。	
				46,713	人			
3	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	550	件	未達	基準値:541件 目標参考値:541件 新型コロナウイルス感染拡大の影響による。	
				320	件			
4	利用状況	経営努力	観覧料および事業等収入額	11,072,000	円	未達	当該年度予算計上額:11,072,000円 新型コロナウイルス感染拡大の影響による。	
				6,981,046	円			

(2) 館別独自項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達
昨年度2~3月分の数字を足して算出	達成見込

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	資料管理	収集・整理	年間の点検資料数	10,000	点	達成	資料管理計画による	
				11,221	点			
2	満足度	常設展	アンケートでの常設展満足度	80	%	達成	昨年度実績97% 回答数552	
				96	%			
3	満足度	特別展・企画展	アンケートでの特別展・企画展満足度	80	%	達成	昨年度実績96% 回答数476	
				95	%			
4	満足度	自然観察会・講座等	アンケートでの受講者の満足度	80	%	達成	昨年度実績90% 回答数81、開催回数6	
				92	%			
5	学校利用	学校教育への支援	学校団体の博物館利用件数	130	校	未達	昨年度実績を参考 新型コロナウイルス感染拡大の影響による。	
				33	校			
6	情報発信	インターネットの活用	ツイート数	130	回	達成	昨年度実績を参考	
				140	回			
7	調査研究	成果発表	研究成果の発表	11	件	達成	学芸系職員一人1件	
				20	件			

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>2 常設展の充実</p> <p>3 特別展、企画展の実施</p> <p>4 関係機関との連携</p>
事業の実施状況と過程	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>(1) 古秩父湾スタンプラリー4/1～5/6及び、化石発掘バスツアー9/19は感染拡大防止のため中止。</p> <p>(2) 「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」の保存活用計画に係る協議を進め、秩父地区文化財保護協会内に1市4町(秩父、小鹿野、横瀬、皆野、長瀬)と当館からなる古秩父湾作業部会を設置した。</p> <p>2 常設展の充実</p> <p>(1) 展示資料の入替え等を実施し、展示の充実を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションホール「岩畳の自然コーナー」を展示替え(5回)。地学展示ホール「軟体動物化石(アンモナイト・ベレムナイト・二枚貝)」の新規展示。その他、資料の維持管理の為の入替えを随時行った。</li> </ul> <p>3 特別展、企画展の実施</p> <p>(1) 「地図と模型で見る埼玉の大地」4/1～8/30 ※4/1～5/31は感染拡大防止の為休館。終期を延長。</p> <p>(2) 「埼玉記念物100年～埼玉の天然記念物ってどう思いますか?～」9/26～2/28 ※12/24～3/21は感染防止の為臨時休館。人気アニメとコラボして埼玉の天然記念物を紹介。他施設と共催でシールラリーを実施。また、秩父鉄道に吊り下げポスターを掲示。</p> <p>(3) 「新収集品展」3/23～3/31</p> <p>4 ホームページを活用した展示等の充実</p> <p>(1)新たに「いつでも!どこでも!バーチャル展示室」を設け、館内が自宅で見られるほか、リーフレット式の博物館クイズをホームページで行えるようにした。</p> <p>(2)「動画で学ぶ身近な自然(おうちでミュージアム)」として、「標本の作り方」や「種模型を作ろう」など10件程度の動画配信を行った。</p> <p>5 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内最後のムジナモ自生地を訪ねる(羽生市教委共催)を8/1実施。</li> <li>・もみじライトアップ・長瀬観光の日事業(長瀬町観光協会共催等)は、感染拡大防止の為中止。</li> </ul>
事業の成果	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>古秩父湾作業部会は、令和2年3月策定の保存活用計画「第7章 運営体制の整備」に定める「協議会」として設置。広域にまたがる複数の天然記念物を各主体が一体的な保存・活用を進めるため重要な役割を担うものであり、設置できたことの意義は大きい。</p> <p>2 常設展の充実</p> <p>令和2年度常設展観覧者数実績は46,713人で、目標値87,370人に対し△40,657人(割合では△46.5%)となった。開館日数割合(開館予定日数304日に対する開館日数実績181日の割合)59.5%を目標値87,370人に乗じると51,985人となり、観覧者数実績との乖離は△5,272人(割合では△10%)である。この乖離が来館の自粛や各事業等の中止の影響と考えられる。コロナ禍の中でもおいでいただいた来館者からは96%の満足度を得ることができた。</p> <p>3 特別展、企画展の実施</p> <p>「地図と模型で見る埼玉の大地」では24,364人の見学者があった。また、人気アニメとコラボして開催した「埼玉記念物100年～埼玉の天然記念物ってどう思いますか?～」では、マスコミにも取り上げられた他、アニメをきっかけとした来館者が館内で見受けられるなど、多くの方に知ってもらい、新たな見学者層にPRでき、15,806人の見学者を得た。また、特別展・企画展では95%の満足度を得ることができた。</p> <p>4 ホームページを活用した展示等の充実</p> <p>コロナ過での博物館のあり方を模索する中、ホームページやSNSを積極的に利用し、特別展や企画展、イベント情報等を発信し、ホームページアクセス約64万3千件(元年度:約34万4千件)、ツイッター表示回数223万3千件(元年度:91万1千件)を得た。</p> <p>5 関係機関との連携</p> <p>コロナ禍での実施が困難であり、実施事業の参加者も少数であった。</p>

基礎データ

職員数 (学芸員数)	19人 (9人)	総予算額 (人件費を除く)	26,835,000 円	職員一人あたりの県民人口	38.6 万人
収蔵資料総点数 (3月末現在)	168,370点	事業経費 (上記の内数)	18,809,000 円	利用者一人あたりのコスト (令和元年度)	281 円
令和2年度 収集資料点数	3,224点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	11,239,000 円 ( 9,602,450 円)	県民人口に対する利用者割合 (令和元年度)	1.41%

(注)令和2年度4月1日現在の埼玉県推計人口は7,341,794人である